

平成 31 年 1 月 18 日

生徒・保護者の皆様

厚木高等学校長

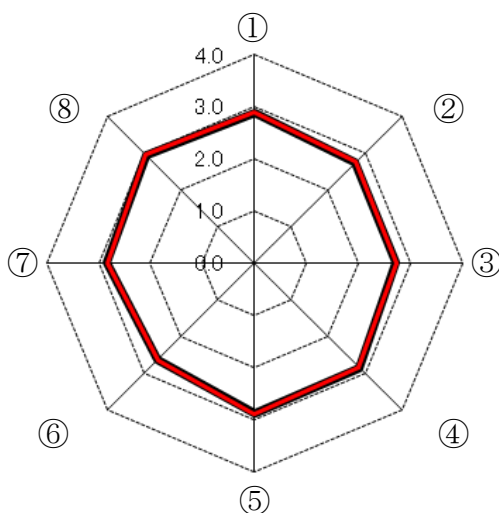
平成 30 年度 第 2 回生徒による授業評価結果について

初春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度 12 月実施の「生徒による授業評価」について報告いたします。全教科全学年の合計を見ますと、すべての質問項目について肯定的な回答を示した生徒が 70%以上となっており、レーダーチャートの形もバランスの良いものとなりました。しかし、すべての項目において 6 月に実施した第 1 回を下回る結果となりました。詳しく見てみますと、ほとんどの項目において、「選択番号 4：とても当てはまる」と答えた生徒が減少し、「3：だいたい当てはまる」と答えた生徒が増加しています。この結果を真摯に受け止め、引き続き学校全体で授業改善に取り組んでいきたいと考えております。

今後も、質の高い授業を目指し、教職員一同、更なる研鑽を重ねて参りますので、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(※ 選択番号 → 1：まったく当てはまらない 2：あまり当てはまらない 3：だいたい当てはまる 4：とても当てはまる)																
質問項目	授業内容						指導方法						生徒自身の取り組み状況			
	① 授業の準備 教材の工夫		② 授業の 充実感		③ 授業の 進め方		④ 生徒主体の 授業の工夫		⑤ 説明の 分かり易さ		⑥ 生徒への 接し方		⑦ 学習への 取り組み		⑧ 態度・姿勢	
	選択番号 (%)		選択番号 (%)		選択番号 (%)		選択番号 (%)		選択番号 (%)		選択番号 (%)		選択番号 (%)		選択番号 (%)	
	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	2.8	3.8	2.9	4.0	3.3	4.7	6.3	6.2	3.2	4.4	4.1	5.3	3.3	3.8	2.5	3.4
2	13.4	14.9	18.6	18.8	17.8	19.0	17.0	16.0	14.0	14.8	23.2	22.3	15.9	16.8	12.6	14.3
3	51.2	51.5	52.3	52.7	52.1	51.7	38.8	43.4	47.2	49.2	47.9	48.8	49.2	50.9	48.9	48.9
4	32.7	29.9	26.2	24.4	26.9	24.6	37.9	34.4	35.6	31.5	24.8	23.6	31.6	28.5	36.0	33.4
平均	3.0	2.9	2.8	2.7	2.8	2.7	2.9	2.8	3.0	2.9	2.7	2.6	2.9	2.8	3.0	2.9



- ① 教材が工夫されるなどして、取り組みやすい授業である。
- ② 私は授業で学習した内容がだいたい理解できている。
- ③ 生徒の理解度に合わせて、授業が進められている。
- ④ 授業中、生徒同士で話し合う機会や意見などを発表する機会がある。
- ⑤ 説明の仕方がいいので、わかりやすい授業である。
- ⑥ 生徒一人ひとりに目を配った、きめ細かい指導がなされている。
- ⑦ 私は授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどしてわかろうとする努力をしている。
- ⑧ 私は授業に対して意欲的に取り組んでいる。

問合せ先
教頭 大塚 秀光
TEL 046-221-4490

○各教科の分析結果と今後の取り組み

【国語】

- ・項目1や4について評価されていることは、日ごろの授業実践の工夫の成果と考えられる。クラスや生徒によっては授業の理解度が低いことが見て取れる。
- ・学び合いの活動の実践の工夫
- ・授業では理解しきれない生徒へのサポート

【地理歴史公民】

- ・前回と同様に項目5がの評価が高い点は、教科として評価できる。生徒とのコミュニケーションを重視した授業展開の検討と実践を継続する。項目6にへこみがある傾向については、生徒が何時もと同様によりきめ細かな指導を求めていると理解できる。
- ・深い学びのためにどう教えるかは大切だが、それとともに、基礎知識の習得、学習内容の面白さを伝えることはとても重要であることを再確認した。グループワークなどの有用性も確認しているが、基礎知識の習得の軽視につながらないように十分な注視が必要である。

【数学】

- ・評価項目1、7、8が平均より高く、授業の工夫が生徒の意欲に繋がっているという関係性があるのであれば、今後も教科として工夫をしていきたい。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を実践するために具体的にどのような教材、単元があるかを教科の中で情報共有し、更なる授業改善を行っていきたい。

【理科】

- ・評価項目4（生徒主体の授業の工夫）は、第一回の理科の結果また全体平均も上回る結果となった。項目7（学習への取組）、項目8（態度・姿勢）も全体平均を上回っており、理科の授業に対する生徒の意欲は高いと考える。項目2（授業の充実感）で若干の凹みが見られるが、本校は学力向上進学重点校かつSSHであることから、教科として学力すべての観点で難関大学でも通用するために生徒に課す水準が高く、生徒は理解は難しいと感じながらも、より高い学力を得たいと真摯に感じていることが窺われる。今後も生徒の主体性を活かしつつ、生徒の希望に添えるような授業を実践するため、引き続き授業改善に取り組むたい。
- ・新学習指導要領や新入試を見据えて、実験など、理科の現象に生で触れて考察できるような機会を多く設けたい。
また、項目2（授業の充実感）を向上させるため、難関大学にも通用する非常に高度な内容でも一人ひとりの生徒が理解を深めるよう、主体的・対話的で深い学びを更に推進し、生徒がより主体的に習得し探究できる授業展開を実践していきたい。

【英語】

- ・第一回目に引き続き、全体的にバランスの良い評価が出ている。項目6に関しては、他の項目に比べて平均を少し下回っているが、アクティビティーを中心とした授業の性質上、スピードとテンポに重きを置く場面が多くなるため、人によって受け止め方に差が出ているのではないかと考える。

- ・各担当者間において、良かった取り組みや教材を共有し、積極的に活用していく。また、項目6における生徒へのきめ細やかな指導については、授業後のフォローなどに力を入れていきたい。

【保健体育】

- ・保健体育科を総合的にみると、概ねバランスよく授業がすすんでいると思われる。しかしその中では、質問6はやや低く現れている。グループで学習を進める場面が多いため、教師と個々の生徒のかかわりを更に工夫することが大切だと考える。一方、毎時間体育学習カードでの記入と返信が、生徒から決め細やかな指導と受け取られていない点は残念である。
- ・保健授業は後期から2週に1度になる。金曜日の5校時は毎年授業回数が少なく、保健が配置されているが後期に授業が5回・6回しかない。どの様に改善できるか検討したい。教科内での情報共有を今後も密に図りながら、授業改善を続けていきたい。

【芸術】

- ・ほとんどの項目において、ほぼ平均に近い評価を得ているが、「2私は授業で学習した内容がだいたい理解できている」の項目が低いクラスがほとんどであった。おそらく、理論の部分で多少難しい内容を取り扱っていたためと思われるが、定期試験での成果を見てみると決して理解できていないという結果ではなかった。説明を受けてから内容を消化するまでに時間が必要なのではないかと考える。課題を用意し演習の時間を長く取れるように配慮してみたい。
- ・まずは、生徒の実態がその年によってまったく異なる上、単位数も少ないので、余裕を持った授業計画をつくっていきたい。その上で、個に対応した丁寧な対応をしていく。また、他の教科のように演習の時間や、形式的に意見交換する機会をもうけ、生徒の理解の深化へとつなげていきたい。

【家庭】

- ・グループワークの機会を増やしたり、授業の進め方に工夫を加えた成果として、全体的に一定の評価が得られた。
- ・説明中心の授業時にも、生徒が主体的に取り組める内容を組み入れ、70分の授業展開を工夫する必要がある。